

# メンター通信

第60号

発行元

メンターシステム(有)  
TEL059-398-0123  
FAX059-398-0153

混乱の世の中で社長がやらなければならぬ仕事とは

10月17日から4回に渡り、菟野商工会青年部の研修会を担当させて頂きました。

これまで主に、社長向けに行ってきましたが、青年部ということもあり、継承者という立場の方も受講生の中にはみえ、いつもと少々勝手が違っておりました。

そんなこともあり、研修の最初には、アイスブレーキングでコミュニケーション力をアップするトレーニングを入れました。

研修内容は、経営の原則から始まり、どういう状態になれば利益性上がるのか。そしてそれをどのような考え方で実行するか。

これはランチエスター弱者の経営戦略で解説しました。

最終講では、その具体的な実行の方法をお伝えしました。

その最終講の前に質問のメールが担当者の方から着きました。



その内容は、「継承者としてのやるべきことを勉強していったらよいかということですか。」

私は考えを巡らせ、一つの答えを出しました。

戦略とそれを実行する決断力は、社長になってから実践を通じて力を付けていくことが必要なので、この時点では難しい。

経営理念とかカリスマ性も同じだと思います。

それ以外で必要な能力は、コミュニケーション力、その中でも特に人間関係を如何に良くしていくかという能力です。

私が人間関係のバイブルとしているのは、テールカーネギーの「人を動かす」という本です。

まず身につけなければならないのは、人を動かす3原則です。それは次のようなものです。

原則Ⅰ 批判も非難もしない。苦情もいわない。

原則Ⅱ 率直で、誠実な評価を与える

原則Ⅲ 強い欲求を起こさせる



菟野商工会青年部の皆さん

私が一番重要だと思っているのは、原則Iです。

なぜかと言いますと、**原則Iはツキを呼ぶ原則**でもあるからです。

「ロロでいうツキ」というのは、一般的に言うツキとか運とかとは少し違いかも知れません。

ランチエスター弱者の戦略では、自分は弱い立場であるということとをまず自覚することから始まります。

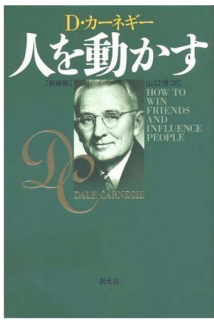
中小企業は少々成功していたとしても弱い立場であり、社長を含めそれほど高い能力も余りない。(失礼)

そんな状態で、さらに敵を作るようなことをしない。戦わずして勝つというのが弱者の戦略の究極です。

そういうことから、他社とは戦わない差別化をするわけです。敵を作らないという観点から考えますと、いろいろと手を広げないというのがその一つです。

それと大切なのが、味方を作るということです。協力者を作るということです。

社員さんは勿論、お客さん、そして地域社会を自分の味方に付つけるということになります。



人間関係のバイブルです

それも、札束とか権力でいうことを聞かすのではなくです。

自分を応援してくれる人を作るには、「批判も非難もしない。苦情もいわない。」「いつから始めるんだよ。」

「なあ〜んだ。それくらいなら分かってるよ。」「とおっしゃるかもしれないですね。

私もそう思っていました。

ところが他人の欠点を直してやるという正義感から、実はいつの間にか、相手を非難してしまっていることであるのではないのでしょうか。

リーダーなら誰でも、部下を良くしたいと考える余り、「こういふ点が悪いからとまず指摘して、それを理解させよう」とします。「そうこうしているうちに、だんだん感情的になり小言になってしまふのです。

私は今、部下はいませんが、次男の高校受験の時にこのことは嫌というほど経験しました。(笑)

最初は、やる気にさせようと思って、話をし始めるのですが最後は結局、「お前そんなことして、ええんかあー」となってしまふんです。

息子は納得してはいませんが、返事だけは、「はい」と言ってくれ

ます。大人の対応というヤツです。

特に立場が弱い人や、気が弱くしゃべらない人に対しては、そうやってしまいます。では、それを防ぐにはどうしたらよいか。

ここでマクスウェル・マルツ博士の

「自分を動かす」という本から自己イ

メージを高める方法の8項目の一部を紹介します。

・他人に好意的に振舞おう

・他人の失敗や誤りには寛大になろう。

指摘しないという前に、好意的になり寛大になるという気持ちを持つことです。

こんなことから、**社長が最初にやらなければならぬのは**ツキを呼び込むために、人間関係を良くするトレーニングをするのが一番です。

特にこのように混沌とした時代には、自社を応援してくれる人を一人でも多く作るのだと思います。

ツキを運んでくれるのは、人だということです。

その時注意するポイントは、**「この人と付き合えば得をする」と**



今は1575円です。

か、損をするとかで区別しないということです。

そんな訳で、ツキを呼び込む第一歩は、「他人に好意的になり、失敗や誤りには寛大になる」ということだと思えます。

でも一朝一夕に身に付くことではありません。

継承者は、社長と社員の狭間において微妙な立場です。

しかも、今すぐ戦略とか決断を迫られる立場にはありません。

こういう立場のときこそ、このことをトレーニングするチャンスです。

創業者は、自動的にカリスマ性を持つことができます。継承者は信頼と実績からカリスマ性が生まれてくるのだと思えます。

参考文献は、「人を動かす」テールカーネギー著・「ツキの大原則」

西田文郎著・「自分を動かす」マク

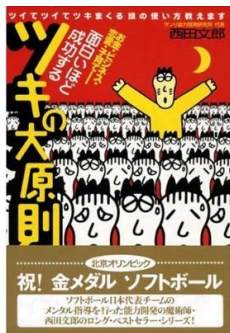
スウェル・マルツ著です。

「自分を動かす」は一度廃盤になったんですが、一時中古本で七、八千

円したのですが最近刷りなおされ、れましたので通常価格で手に入る

ようです。

これらの書籍を参考にされて、運を掴めるよう祈っております。



ツキを研究してください

### 3日坊主が習慣を身につける法

今年自分で一番変わったなあと思つて。

それは、体重とウエストです。64kgから57kgに、88cmから79cmと隠れメタボから脱却したことです。

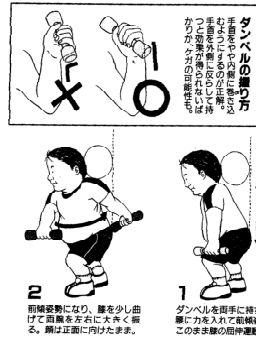
きっかけは日野原先生の講演を聞いて1日のカロリーの摂取量

が多いことを知って間食を控えることにしてからです。

ダイエットなんて、と馬鹿にしているのですが、体重が直ぐに減つたので調子に乗って、腹回りを絞ろうと考え腹筋を60回するのことにしました。

この60回というのは次男に高校でこのへらいするのかを聞いたら60回と言っていたので、ライバル意識から決めた回数です。ならにダンベルトレーニングというのを始めました。これらのトレーニングを始めるにあたり、心掛けたことは毎日やると思わないことでした。

#### お腹が凹む体操



トレーニングは5種類あります

私は小さい頃から、兄と違い「何一つ長続きがしない。3日坊主」と母親にいつも言われていました。

そういう性格ですので、続けることだけを意識することにしたのです。

どうも昔から張り切って、やる気を出せば出すほど長続きをしませんでした。熱しやすく冷めやすいのかもしれない。

1年近くこのトレーニングを続けてきて多少自信も付いてきたので、次に克服したいテーマにチャレンジすることにしました。

それは、講義など2時間立ちっぱなししていると膝がだるくなって翌日まで疲れを持ち越してしまうことです。

その対策で、散歩で膝を鍛えることにしました。

この時も同じく、毎朝散歩をしたいと思わないようにしました。

雨の日は休む、辛くなったら一旦休憩する。

こんな具合に始めた朝の散歩ですが、しばらくするとやはり嫌になってきました。

以前も散歩をしようとして、朝早く起きて実行したのですが、3日どころか1日で終わってしまいました。

そこで以前から勉強している西田文郎先生のイメージトレーニングのCDを聞きながら歩くことにしました。CDの内容は、

● 今日の日標

- 今月の目標達成のイマージエリー
- 長期目標達成のイマージエリー
- サポーター・イマージエリー

の4つで約20分です。

それでも、何だか自分のためだけに散歩するのが空しくなってきたのです。実は止める口実を見つけ出し始めたのです。

そこで、「ゴミを捨てることにしました。

私はタバコを吸いませんで、どうしてもよく分からないのが車の窓からのゴミ捨てです。

目の敵にしているわけではありませんが、このタバコの吸殻だけを捨てるということにしました。

「ゴミを捨てるって歩くときとどんどん気持ちが悪くなるようになっていきます。

それで今も散歩を続けることができています。

私はこの体験を通じて、習慣を付けるためには

- ① 目標の意味を付ける。(自分なりにいいです)
- ② 続けられることだけに目標を少なくする(やらなければならぬと思わないこと、義務にならないこと)
- ③ 一つ続けられる自信が持てたら、その上に目標を設定する

④ 止める理由を考え始めたら、続ける理由を考える

こんな方法以外にもあると思いますが、どんなことであっても、「やらねばならない」と思ったり口走ったりしたら、それは義務になります。

そうなるまで辛くなり継続は難しくなります。

自らやめたいようになるようにすることですね。

私は今ようやく朝の時間が使えるようになってきました。

それは次のようなものです。但し朝起きれ

たらです。(笑)

- 座禅(20分)
- 散歩(25分)「ゴミを捨てるながら
- ダンベルトレーニング(5分)
- 笑顔ストレッチとボイストレーニング(10分)

今後の課題は、2つです。

スタート時間が遅くなってしまったときの気持ちの持ち直し。

スタート時間を決めた時間にする

ツキを呼び込むにしても、習慣を身につけるにしても、具体的にどうしたら出来るかを著した本や教材はありません。

皆さんは、どのように自分に落とし込んでみえるでしょうか。



